

ふれあい名古屋



【特集】福祉クローズアップ

介護業界の現状とこれからの展望

—介護を身近なことで意識してもらうために—

今回の特集は、
名古屋市の介護業界の現状と
これからの展望について
お話を伺いました。
関連記事：2・3ページ

なごや介護の日フェア実行委員会と運営協力者の皆さん

CONTENTS

社協活動最前線 中川区社会福祉協議会	4
想いをつなぐリレートーク / ながら体操	5
ほっとはあとコーナー	6
● 旬ボラに行く！ 寒さにも負けない屋外サロン 浦里学区をもっと明るくします！	
● ボランティア・NPOウォッチング ボラネット なかまんなか / 名古屋市内の野良猫をゼロにする会	
● きらっとボランティア・NPOらいぶ あゆみの会 (名古屋市若年性認知症本人・家族交流会) パートナー	
● 地区のオススメのボランティア 天白ハッピーボイス	
からだに優しいいきいきレシピ / プレゼントつきクイズ	10
インフォメーション	11
ご寄付・ご寄託・賛助会員のご紹介	12



な～や
(お正月 Ver)

特集：福祉クローズアップ



名古屋市介護サービス事業者連絡研究会
事務局長

佐藤 洋平さん

介護業界の現状とこれからの展望

—介護を身近なものと意識してもらうために—

名古屋市介護サービス事業者連絡研究会（以下、名介研）は、介護保険制度が施行される前年の1999年に設立され、市内で活動している様々な介護サービス事業者で構成された団体です。介護サービスの利用者やその家族に信頼される質の高いサービスを提供することを目的に、「情報」「交流」「研究」をキーワードにして幅広い連携で、「介護保険制度を社会全体で支える組織」の実現を目指した活動をしています。

人材不足と言われて久しい介護業界は、2020年度の有効求人倍率が、施設介護職3.9倍、ホームヘルパー14.9倍と非常に高い水準のまま、極めて厳しい現状となっています。この現状を踏まえ、これからの展望について名介研の佐藤事務局長に話を伺うとともに、介護現場でサービス提供を行っているヘルパーとそれを支える職員の声をお届けします。

介護業界の人材不足

人材不足は今に始まったことでなく、介護保険制度が始まった当初から続いています。

事業内容や事業所によって処遇面の違いもありますが、理念や仕事の魅力などを就業希望者に上手く伝えていくことが重要と思います。

情報発信力については、介護業界全体の課題であるため、名介研では、広報啓発活動などに注力することで就業希望者の増加を目指しています。

介護職の魅力

介護職は、専門性だけでなく生活者としての経験が活かせるため、仕事のイメージがしやすく、年齢や国籍に関係なく仕事をすることができます。また、昼夜問わず大小、様々なニーズ

があるため、働く時間や業務内容を自分で調整して長く続けることができます。

業界では、技能実習生や特定技能外国人の就労の動きがあります。東南アジアの送り出し国に出向き、面接や業務内容の説明をしますが、介護のイメージはどうしても排泄介助や入浴介助が先行しがちです。もちろん実際の介護には欠かす事が出来ないサービスではありますが、本当に必要なサービスとして利用者とのコミュニケーションがあることをお伝えすると、本人も家族も介護の仕事に前向きになることがあります。つまり介護の魅力の伝え方が重要と思います。

介護は身近なもの

介護の対象は、高齢者、障がい者、産前産後の母親、病気やケガで援助が必要な方であり、誰もが人生の中で一度は体験するインフラのようなものにも関わらず、実際にサービスを使うことになって初めて知り、苦勞することが多いように見受けられます。こうした状況を変えていくためにも、若い世代に早くから介護業界に関心を持ってもらいたいと思っています。表紙の写真の「なごや介護の日フェア」は、まさにこの想いを体現するイベントなのですが、今回は多くの高校生にお手伝いをいただき、うれしく感じています。



介護従事者のスキルを高める多様な研修を開催

名古屋市社会福祉協議会
社会福祉研修センター
主事 石濱 咲さん



社会福祉研修センターでは、ヘルパー養成のための初任者研修以外に、福祉・介護従事者に向けた様々な研修を名古屋市から受託しています。キャリアアップ研修や高齢・障害福祉職員研修などを通じて、介護従事者の資質やサービスの向上にも関わっています。新型コロナウイルス感染症の流行下においては、集合形式の研修からオンライン形式へ変更するなど、時代の流れに応じて受講しやすいよう工夫を凝らしています。

苦労を上回るやりがいがあるから長く続けてきた

昭和区介護保険事業所
なごやかスタッフ（ヘルパー）
高木 美穂子さん



高木さんは、両親の介護に役立つかもしれないと、ヘルパー2級資格の研修を受講しました。両親を看取った後、「家に居ても良いことは考えない」とヘルパーの仕事を始めました。

長いヘルパー経験の中で、高齢利用者の急変に遭遇し、緊急搬送で一命を取り留めるなど、様々な苦労もありましたが、それを上回るやりがいを感じています。最初は打ち解けずにいた精神障がいの利用者が、何度も通ううちに料理に興味を持ち、「作り方を教えてほしい」「ありがとう。来週も絶対来てよ」と声をかけられたことは、その一例と言えます。

ヘルパーとして長く続けるコツは、利用者の自立支援のため、必要以上に利用者に入り込まないこと、さりげなく寄り添う気持ちを持つことが大切だと思います。



マスコットキャラクター「へるびよん」と一緒に！

質の高いサービスを維持しながら業務の効率化を目指す

名古屋市社会福祉協議会
在宅福祉部
主事 平林 範之さん



本会もヘルパーが減少傾向にあるため、限られた人材をいかに調整するかが、大きな課題となっています。現在、利用者へ質の高いサービスを維持しつつ、業務の効率化を図るための検討を進めています。具体的には、ICT（情報通信技術）を駆使しヘルパーの空き時間を管理したり、制度改正などで増大した職員の業務量を調整するなど、どれだけ効率化できるのかを模索しています。

本会の使命と地域共生社会への思い

名古屋市社会福祉協議会
在宅福祉部
次長 渡邊 亮さん



本会が実施するホームヘルプサービス事業は、介護保険制度施行前の1990年に、地域住民同士が有償で助け合いの活動を行う「住民参加型在宅福祉サービス」として、各区社協とともに名古屋市から受託する形態で始まりました。多いときは3,000名以上いたヘルパーも今では1,000名ほどとなり、本会も確実に介護人材不足の影響を受けています。

しかし、地域福祉推進の中核である本会の使命は、昨今言われている地域共生社会の実現と方向性は同じ。在宅福祉の事業はまさにその最先端です。30有余年に渡る豊富な経験を活かし、地域に密着した職員などが関係者と連携し、多様なニーズに対応している本会ヘルパーの魅力を発信していきながら、名古屋市の地域福祉の推進に引き続き貢献できるよう努力していききたいと思います。



左から 平林さん、渡邊さん、高木さん、石濱さん

Vol.51

今回は

中川区社会福祉協議会

中川区社会福祉協議会

昔の縁側のように、近所の人が気軽に立ち寄れる「オープンカフェ」の作り方

屋外で開放的。コロナ禍でも行きやすい

中川区では、公園や神社、団地の集会所などの屋外で「オープンカフェ」が不定期に開かれています。誰でもふらりと来て、おしゃべりを楽しんだり、イベントに参加したり。主催するのは地域の住民や団体。会場によって、血圧や握力測定などの健康チェック、紙飛行機づくりや輪投げなど遊びのコーナー、地元農家の野菜販売、介護や子育てなど福祉に関する情報を提供したり相談できるブースがあります。

このオープンカフェは、中川区の第4次地域福祉活動計画（2019～2023年度）の3本柱の1つ「地域のえんがわづくり」を形にしたもの。食育や傾聴のボランティア、子育ての支援者、福祉施設の職員などが参加しているワーキンググループが、歩いて行ける場所で多世代が集い交流し、つながることができる場所をつくりたいという願いからスタートしました。

当初は手探り状態で、第1回は2019年10月、人が集まる生協のイベントの場をお借りして開催。2回目は児童館と共催で公園で開催するなど、徐々にオープンカフェ運営のノウハウを習得していきました。

2020年は新型コロナウイルス感染拡大により、室内で行われていたサロンなどがことごとく中止となる中、オープンカフェは屋外の開催のため、感染予防対策をした上で実施することができました。コロナ禍で引きこもりがちになっていた方にとっては、外出のきっかけとなる良い機会になっています。



第4次中川区地域福祉活動計画オープンカフェづくりワーキンググループの皆さん



オープンカフェの様子

オープンカフェ開催希望者へ丁寧にアドバイス

2022年2月に「オープンカフェやってみませんか?」というチラシを作成、地域に配布したところ、問い合わせが急増。月に1度、町内会長や民生委員などオープンカフェの開催希望者を対象に相談会を開き、実施に向けたアドバイスを行っています。

相談を受けるメンバーが心掛けているのは、「主催者の狙いや意図をきちんと聞き取り、実施のコツを伝える」こと。例えば、たくさん子どもに来てほしいという希望があったときは、紙飛行機づくりやバルーンアートを提案し、当日は多く子どもたちが訪れるきっかけとなりました。紙飛行機やマジック、人形劇などの講師や演者は、地元で活動している人にボランティアをお願いしています。

ワーキンググループから主催者への関わり方は、アドバイスだけのこともあれば、社協所有の備品（テントやテーブル、椅子など）の貸し出し、当日の手伝いなどさまざま。オープンカフェに立ち寄った人が自らも主催したり、参加者からの「楽しかった」という感想が励みとなり、場所を変えて何回も開催している主催者もいたりします。オープンカフェが徐々に広まり、今年度はすでに10回以上開催しています。

ワーキンググループのメンバーは、もともと中川区が少しでも住みやすくなるようにと、地域で長年活動してきた人たちです。オープンカフェは、メンバーたちがこれまでの活動で築き上げて来た人脈やつながりが生かされた場所です。「オープンカフェは、普段だったら出会えない人たちが出会える場。その日だけで終わるのではなく、外に出れば顔見知りに出会えるような地域になるといい」「住民同士の交友関係が広がり、いずれは地域の課題解決にもつながれば」と、今後の抱負を話していただきました。

想いをつなぐ

リレートーク 51



社会福祉法人あいうえおハウス
 施設長 儀保 高雄さん

はじめまして、社会福祉法人あいうえおハウスの儀保高雄と申します。

あいうえおハウスに来て1年半ほど経ちました。以前は、名古屋市南区で10年ほど障害者支援に関わり、現在は瑞穂区の障害者施設で障害者の日中活動を支援する仕事をしています。

さて、当施設は、地域作り、“地域といかにつながるか”を大切に考えています。そのことが結果として、障害理解に繋がり、障害を持つ方々の安心・安全な地域生活につながると信じています。

昨年、試験的に地域の方に施設の一部を開放し、施設利用者地域の方々とポッチャを通して交流する取組をし、思いのほか施設利用者地域の方々が仲良くなれました。

今年度から“瑞穂ニュースポーツサロン”を開設し、毎月1回開催しています。10月には、地域の方、瑞穂区社協、施設利用者とのサロンの内容について意見交換もしました。

また、学区の委員長から、地域に住む障害者が災害時の避難先としてあいうえおハウスに避難できないかという相談を受けたり、近所の方からいざというときはお願いね!と声をかけられたこともあり、学区と「地域防災協力事業所」として協定を結びました。これからは、災害時の緊急避難先としてあいうえおハウスが地域に浸透していく事を願っています。

また、瑞穂区も高齢化が進んでおり、地域で助け合う仕組みづくりが必要です。その一端を担う施設でありたいと願い、具体的に役に立てる事を地域の方々と考えていきたいと思っています。

ありきたりではありませんが、地域の皆様に喜ばれ、必要とされる施設となり、より具体的に地域とつながっていく取組を今後も模索し続けたいと思っています。

今回は

名古屋市緑区子育て応援拠点 森の実
 子育て応援コーディネーター

川本 寛子さんへバトンタッチ

椅子に
 座って

ながら体操

仕事や家事の合間に、「椅子に座りながら」できる体操です。

第18回 足のすねを伸ばす

足の甲とすねを伸ばして、足の疲れをいやします。

- 1 椅子に浅く腰をかけます。足は肩幅程度に広げ、両手は腿の上に置きます。



- 2 左足のつま先の甲を床に付けます。足の甲はできるだけ床と並行に。



- 3 すねの前側の筋肉（前脛骨筋）が伸びていることを意識して、そのまま30秒。両手を右膝に乗せて押し、体重をかけやすくなります。



- 4 右足の甲とすねも同じように伸ばします。



旬ボラに行く!

本号のテーマ

寒さにも負けない屋外サロン 浦里学区をもっと明るくします!

寒い冬がやってきましたね。ふれあい名古屋を読んでいるみなさんも寒さで外に出る機会が減ってしまった、なんて方もいるのではないのでしょうか?

今回はこのような寒い季節でも約10年間、屋外での活動を続けている緑区浦里学区のサロン、『浦里虹の会』取材しました。(代表の高井さんはじめ、6名のメンバーからお話を伺いました)

●『浦里虹の会』立ち上げのきっかけは?

『浦里虹の会』は、一部メンバーが行っていた公園を清掃する愛護会(2012年6月設立)のボランティア活動が前身となっています。実は、元々浦里学区には老人会がなく、緑区の区老人クラブ連合会(以下、「区老連」)から「浦里学区の老人会を作ってみては」と話があり、『浦里虹の会』を立ち上げました。

『浦里虹の会』発足の際、老人会になるには“メンバーが30名必要”という条件があり、最初にメンバー集めに取り組みました。

そこで、メンバー集めのために始めたのが、発足当時から今も続けているラジオ体操です。週3回午前6時30分から浦里公園でラジオ体操を始めました。ラジオ体操は、次第に口コミなどで広がっていき、2013年4月に男性12名・女性18名の計30名で『浦里虹の会』が立ち上がりました。

それから約10年間、基本的にはお盆と年末年始以外は、今の時期のようにどんな寒い日でもラジオ体操を続けることができました。



『浦里虹の会』のみなさん(最右:代表の高井さん)

●ラジオ体操以外にはどんな活動をしていますか? また、活動への思いも教えてください

ラジオ体操以外にも『浦里虹の会』では、立ち上げ時に区老連からもらったグラウンド・ゴルフのセットを使って、ラジオ体操後にグラウンド・ゴルフを行っています。他にも、屋外の活動で利用している公園の清掃・小学生の登下校の見守り・手芸・書道・カラオケ・踊り・麻雀サロンなども開催しています。

また、コロナ前は施設への慰問活動も積極的に行っており、サロンで練習したカラオケや踊りは芸能大会で披露しています。



ラジオ体操

●活動していてどんな時に喜びを感じますか?

例えば、小学生の登下校の見守りに行くと、小学生たちは大きな声で「さよならー!」と挨拶してくれるので、その声でとても喜びを感じます。むしろ、小学生の大きな挨拶を聞くと気力が湧いてきて、私たちも元気もらえます。また、ラジオ体操などで利用している公園は、10年前は草で荒れていましたが、今は綺麗になってたくさん子どもたちが遊んでいる様子を見ると、日々清掃を続けてきてよかったと思います。

●インタビューより

きっと今日も高井さんたちは寒さに負けず、朝からラジオ体操や清掃などの活動をしていると思います。これからも活動を続けていき、学区がますます明るくなっていくといいなと思いました。

【お問い合わせ】

緑区社会福祉協議会
TEL: 052-891-7638 FAX: 052-891-7640
E-mail: m-fukushi@nmidori-shakyo.jp



公園の清掃活動

ボランティア・NPOウォッチング

団体の活動内容等を紹介するコーナーです。

ほっとはあと
コーナー

ふれあい名古屋では、地域の人、ボランティアや企業、学校関係者などが読みたいと思うボランティア情報発信を目的に、ほっとはあとボランティア情報発信を目的に、ほっとはあとボランティアクラブ（ボランティアの方々）と本会ボランティアセンターの協働編集（取材・執筆）による「ほっとはあとコーナー」を掲載しています。

ボラネット なかまんなか

【団体概要・活動内容】

「ボラネットなかまんなか」は、中区で活動するボランティア同士の交流と連携を目的としたボランティアグループのネットワーク組織です。定期的に集まり、各グループの近況報告や学習会・交流会等の企画、地域イベントへのブース出展等、幅広く活動しています。令和4年8月には、「コロナ禍でも、できることを楽しもう！」と、子ども食堂とコラボし、中区在宅サービスセンターでなかまんなか夏祭りを実施しました。

【活動者の思い】

私は、車いすユーザーですが、「何か社会参加できないか」と思い、社協に相談したところ点訳ボランティアの活動を紹介いただきました。なかまんなかに所属し、他のボランティアグループの方と一緒に、沢山のイベントに参加してきました。地域の夏祭り等にも参加でき、「社会の一員としてお役に立てているのだな」と思うとやりがいを感じます。なかまんなかへの加入グループ募集中です！



イベントにてチラシを配布し活動をPR！



約100人の人が来場し、夏祭りは大盛況♪

【お問い合わせ】

中区社会福祉協議会
TEL：052-331-9951
FAX：052-331-9953
E-mail：nakaVC@nagoya-shakyo.or.jp

名古屋市内の野良猫をゼロにする会

【団体概要・活動内容】

名古屋市内の緑地公園内で、「地域猫活動」を実施しています。増えてしまった野良猫に対し、TNR活動（野良猫を保護して不妊手術を実施し、元の場所に戻す活動）を実施しています。不妊化した猫は、責任をもってエサやりを実施し、「一代限りの命」を見守っています。猫の給餌活動、公園内見回り活動、地域への周知活動などを活動内容としています。

【活動者の思い】

緑地公園は自然が多く残る貴重な場所です。野生動物への影響を減らすために、野良猫と向き合う活動をしています。「命とは何か」について考えることができる活動です。山歩きが好きな方、猫に限らず動物が好きの方にオススメです。私が所属する別団体とも連携し、保護猫の譲渡会や啓発イベントも実施しています。命と向き合う活動、関わり方は様々です。お気軽にお問合せ下さいね。



なごや生物多様性
センターまつりで
啓発活動



不妊化した猫への給餌

【お問い合わせ】

代表：今井宏昭
E-mail：nagoyagi5906@gmail.com

きらっと ボランティア・NPOらいぶ

『あゆみの会（名古屋市若年性認知症本人・家族交流会）』で
パートナーとして活動している田川一人さん



田川さん

●田川さんが所属している『あゆみの会』とは？

『あゆみの会』は、若年性認知症と診断を受けた本人同士・家族同士の交流、情報交換をしている会です。名古屋市認知症相談支援センターが主催となり、毎月第4土曜日に、名古屋市総合社会福祉会館や名古屋市高齢者就業支援センターで行われています。私はそこでパートナーとして活動しています。



『あゆみの会』の様子

●パートナーとしてどんなことをしていますか？

パートナーは『あゆみの会』に来た人の話を聴くことが主な活動です。認知症は治らない病気であるため、診断されると引きこもってしまう人もいます。そのような不安を抱えた人たちに、ここは安心できる場所とわかってもらえるように心掛けてお話を聴くようにしています。

また、私は認知症になっても楽しんで生活を送っていただきたいと思っています。そのため、お話を聴く中で、当事者のやりたいことを引き出せるよう意識しています。実際、この『あゆみの会』では、当事者の希望によって、野球観戦やキャッチボールなどを行いました。お話を聴いたり、やりたいことを一緒にして、認知症になってもなる前と変わらず楽しい日々を過ごしてもらおう、それがパートナーの役割だと思っています。

●『あゆみの会』以外にも認知症関連の活動をしていますか？

2022年9月コロナ禍で中止されてきた“RUN伴”が3年ぶりに中区で行われ参加しました。“RUN伴”は、認知症にやさしい社会づくりに

向け、認知症の人や家族、支援者、一般の方がタスキをつなぎゴールを目指すイベントで、中区では認知症当事者の方たちと大須～栄のコースをウォーキングしながら“認知症にやさしい街”のPRをしました。認知症の人もそうでない人も一緒になって楽しむなかで人と人をつなぐコミュニケーションが自然と生まれるとても和やかで心地のいいイベントでした。

●読者へのメッセージ

認知症は高齢者の5人に1人がなる病気にも関わらず、誤解や偏見がたくさんあります。この誤解や偏見は認知症になった人自身も持っていることが多く、認知症の診断を受けたことによりかなりのショックを受けて、仕事を辞めてしまい引きこもってしまうこともしばしばあります。そのため、読者のみなさんには、“認知症になっても大丈夫。診断前と変わらず楽しい生活が送れる！”というイメージを持っていただきたいです。このような認知症のマイナスなイメージを減らして、いざ認知症になっても楽しい生活を送れる人が増えるといいなと思います。

また、この『あゆみの会』をもっと多くの人に知って欲しいです。認知症になっても1人にならず、同じく認知症と診断された人やその家族とつながることができて、楽しく過ごすことができる場所があることを知っていると、認知症になった時の不安も少しは和らぐのではないかなと思います。



RUN伴の様子

【お問い合わせ】

名古屋市認知症相談支援センター

TEL : 052-734-7079 FAX : 052-734-7199

各区社協の
職員に聞いた

地区のオススメのボランティア

第8回

天白ハッピーボイス

〈インタビュー：旅する食いしん坊 YM〉



左から宮前さん、長谷川さん、近藤さん

天白区で活動する音訳ボランティアグループ『天白ハッピーボイス』の近藤さん、長谷川さん、宮前さんにお話を伺いました。

●わたしたちの音訳活動

専用アプリを使って文字情報を音声化し、CDにして社会福祉協議会を通して希望する利用者の皆さんにお届けしています。音訳グループによっては小説や週刊誌などを録音することもあるようですが、『天白ハッピーボイス』では『広報なごや』の天白版ページに天白区社会福祉協議会広報誌『ぱわわ』や新聞記事などから選んだ地域の情報を“おまけ箱コーナー”として加えてCDを作成しています。生涯学習センターの講座案内も依頼されて音訳しています。

●グループとメンバーについて

音訳ボランティア養成講座修了生の呼びかけで1991年に活動を始めました。火曜日午前中の活動が基本で、50～80代まで約20名の女性メンバーが4つの班に分かれて『広報なごや』天白版ページの録音、編集、“おまけ箱コーナー”用の記事選びなどを毎月交代しながら担当しています。間もなく新しいメンバーが大勢加わる予定で、担当ローテーションも組みやすくなると思います。

『ハッピーボイス』に参加するようになったきっかけは、子育てが一区切りして何かボランティアをしてみたかった、もともと読書が好きだった、声を使った活動をしたことがあるなど様々ですが、誰かの役に立つことをしたかったという点では共通しています。

●朗読と音訳

読み手の個性をアピールすることが期待される朗読とは異なり、音訳者には聞き手本位の客観的な情報伝達者であることが求められます。ただし、同じく客観的であってもコンピューターが生成する人工

的な読み上げ音とは違い、わたしたちは読み手（人）が聞き手（人）に語り伝えるという人から人への情報受け渡しである点を意識して音訳作業を行っています。また、聞き手本位の音訳とするために、何人かで長い文章を分担録音する際には音訳者間で統一性が損なわれないように配慮しています。

●活動しながら思うこと

音訳対象となる文章の著作権問題に直面したり、個人情報保護の観点からお届けできるかもしれない方を把握しにくかったりと難しいこともありますが、障がいをお持ちの方に情報アクセス機会を提供するお手伝いができることにはやりがいを感じます。一人でも多くの方に音訳による情報提供があることを知っていただければと思います。身近に音訳CDを聞いてみたいという視覚障がいの方がいたら、ぜひ社会福祉協議会に相談してみるようご案内ください。



音訳の様子



音訳データが入っているCD

【お問い合わせ】

天白区社会福祉協議会
TEL : 052-809-5550 FAX : 052-809-5551
E-mail : tenpakuVC@nagoya-shakyo.or.jp

ほっとはあとクラブメンバーのつぶやき

うれしいご報告です！『ふれあい名古屋』2022年7月号の“つぶやき”で、〈町内会サバイバル大作戦実行中〉をレポートしましたが、行政や社協、マスコミ等たくさんの応援を得て、我が町内会では以下の3つの目標の達成宣言が年度末にできそうです！

1. 役員や民生委員さんの仕事内容を住民に周知し、引き受け手候補を安心させる。
2. 行事実施マニュアルを作り、次期担当者を安心させる。
3. 労力提供には対価をもって感謝する習慣を定着させ、有意の人の徒労感をなくす。

3つとも日本中の町内会、自治会の関心事ではないでしょうか？来年夏ごろに報告会があるので、皆さんに『町内会&自治会運営のテンプレート』としてご覧いただけるように頑張ります。〈旅する食いしん坊 YM〉

からだに優しい いきいきレシピ

旬のカキと根菜の具沢山スープ

カキのクラムチャウダー

クラムは二枚貝、チャウダーは具沢山のスープのこと。アサリを使うことが多いのですが、今回は冬が旬のカキで作りました。

カキは海のミルクとも呼ばれ、ミネラルやビタミン類など栄養豊富で、疲労回復や貧血予防も期待できます。仕上げにハーブの乾燥パセリや、刻んだ生パセリなどを振ると彩りがよくなります。

材料(2人分)

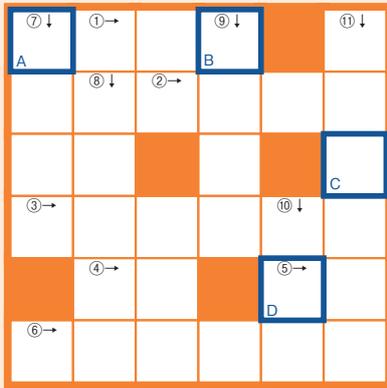
- カキ 1パック
- タマネギ 1/2個
- ニンジン 1/2本
- ジャガイモ 1個
- 小麦粉 大さじ1
- バター 20グラム
- コンソメ 1個
- 牛乳 400cc
- 塩コショウ 少々
- 乾燥パセリ 少々



- 1 カキは塩水でふり洗いする。野菜は1センチ角に切る。
- 2 鍋にバターを熱し、野菜を炒める。
- 3 野菜がしんなりしてきたら小麦粉を入れ、粉っぽさがなくなるまで弱火で炒める。
- 4 カキ、牛乳、コンソメを入れる。煮立ったら弱火にして、時々かき混ぜながら10～15分煮込む。
- 5 とろみが付いてきたら塩コショウで味を整える。器に盛って乾燥パセリを散らす。

プレゼントつきクイズ

クロスワードを解いて、色枠に入った文字をA～Dの順に並べると、何という言葉になるでしょう。



ヨコのカギ (小文字も大文字とします)

- 1 1月15日に正月飾りを焼く行事「○○○焼き」
- 2 これやこの行くも帰るも別れては知るも知らぬも○○○○の関
- 3 p2-3で紹介。名古屋市介護サービス事業者連絡研究会の略称
- 4 p6で紹介。「浦里○○の会」
- 5 英語でマグロは？
- 6 漢字で書くと「紋甲烏賊」

【応募要項】

郵便はがきに①問題の答え、②住所、③氏名、④「ふれあい名古屋」本号で興味のある記事と理由、本紙に対するご意見を書いて下記までお送りください。
締切は2023年1月31日必着。
〒462-8558 名古屋市北区清水四丁目17-1
名古屋市社会福祉協議会 「ふれあい名古屋」係

【正解発表】

2023年4月号誌上に発表。正解者の中から抽選で10名様に名古屋市総合社会福祉会館にて展示・販売中の授産施設製品の中から500円相当の品を差し上げます。当選者の発表は賞品の発送をもってかえさせていただきます。個人情報について
応募いただいた個人情報は賞品の発送および本紙の企画以外に利用したり、第三者には提供しません。

タテのカギ

- 7 年明け、初めて毛筆で書く文字や絵
- 8 業務を取り仕切る人。ホテルの○○○○○
- 9 名字が同じ
- 10 自分の考えをはっきり決めること
- 11 p7で紹介。「ボラネット○○○○○」

前回の答え

すずむし



寄付・遺贈をお考えなら

名古屋市
福祉基金

名古屋市
社会福祉協議会

なごや
よりどころ
サポート事業

あなたのご寄付が大きな幸せに変わります



小学校での車いす体験



被災地への職員派遣



高齢者サロン

～本会では福祉に関わる様々な事業を行っています～

寄付の受付・
お問い合わせ

社会福祉法人名古屋市社会福祉協議会 総務部
TEL 052-911-3192 FAX 052-913-8553
ホームページ <https://www.nagoya-shakyo.jp/>
Eメール nagoyaVC@nagoya-shakyo.or.jp

使用済み切手の寄付募集中

名古屋市社会福祉協議会では使用済みの切手を集めて、福祉活動や環境活動等に取り組んでいるNPOなどに送付しています。ご家庭や職場に使用済みの切手がある場合は、近くの社会福祉協議会まで、ぜひご寄付ください。(郵送可)

また、ご寄付いただいた方の氏名や所属団体名(会社名やサークル名等)を本広報紙P12に掲載しています。掲載希望の方はその旨を寄付する際にお申し出ください。なお、氏名や団体名の掲載号は郵送することもできます。そのため、ご寄付いただく際は、①氏名または団体名・②名前の掲載希望の有無・③広報紙郵送の希望の有無・④郵送先住所をお教えください。



※対象の使用済み切手は、台紙(四方の余白1cm以上)付きで消印が欠けていないものです。
名古屋市社会福祉協議会 ボランティアセンター

【広告】

社協からのお知らせ

障害者差別相談センター、障害者虐待相談センター・高齢者虐待相談センター 市民講演会のご案内

発達障害を公表した落語家の柳家花緑さんから、その経験談をお話しいただき、発達障害への理解を深めます。落語の披露もあります。

参加費無料
要申込



- 日 程 令和5年3月4日(土) 午後1時30分～午後3時45分
- 会 場 鯉城ホール(中区栄1-23-13 伏見ライフプラザ5階)
- 定 員 350名(事前申込制、応募多数の場合は抽選)
- 参加費 無料
- 内 容 第1部 講演「障害者差別、障害者・高齢者虐待について考えよう」
講師：田中 伸明さん(弁護士・名古屋市視覚障害者協会会長)
- 第2部 講演「発達障害は私にとってギフトでした！！～発達障害落語家誕生～」
講師：柳家 花緑さん(落語家)
- 申込み 令和5年2月3日(金) 必着
・お申込みはお一人様1回限り、3名まで。
・右記のQRコードからお申込みください。
・はがき・メールの場合は、申込者(代表者)の氏名・郵便番号・住所・電話番号・必要な配慮、同伴者の氏名・電話番号・必要な配慮を明記のうえ下記へお申込みください。
- 申込・お問合せ 障害者差別相談センター 〒462-8558 名古屋市北区清水4-17-1
TEL：052-856-8181 FAX：052-919-7585
メール：inclu@nagoya-sabetsusoudan.jp ホームページ：https://nagoya-sabetsusoudan.jp



申込フォーム

名古屋市社会福祉協議会の終活講座 ～生前整理のススメ 遺品整理の現場から～

参加費無料
要申込

「終活」というと「人生の終わりのための活動」であり、暗く不安なイメージを描きがちですが、私たち名古屋市社会福祉協議会では「終活」は誰にでも必要なことであり、これからを前向きに、自分らしく、よりよく生きるためのものと考えています。これからのを、よりよく生きるために今年度は下記の内容で終活講座を行います。

- 日 程 令和5年3月1日(水) 午後1時30分～午後3時30分
- 会 場 名古屋市総合社会福祉会館7階 大会議室(北区清水四丁目17-1)
- 定 員 80名(事前申込制、応募多数の場合は抽選)
- 参加費 無料
- 内 容 第1部 「生前整理のススメ 遺品整理の現場から」 講師：大橋運輸株式会社 遺品整理士 園田 昭 氏
「想いをカタチに」 講師：大橋運輸株式会社 部坂 菜津子 氏
- 第2部 本会が行う死後の葬儀や家財処分等のサポート
～なごやかエンディングサポート事業等について～ 講師：本会職員
- 申込み 令和5年2月3日(金) 必着で
・お申込みはお一人様1回限り、2名まで
・FAXまたはメールもしくは郵送でお申込みください
(申込者の氏名・郵便番号・住所・電話番号 ※同伴者いる場合は氏名を明記)
・本会ホームページよりチラシをダウンロードし、チラシ裏面の参加申込書に記載してFAXや郵送でお送りいただくこともできます
- 申込・お問合せ 名古屋市社会福祉協議会 総務部 〒462-8558 名古屋市北区清水4-17-1
TEL：052-911-3192 FAX：052-917-0702
メール：soumu@nagoya-shakyo.or.jp
ホームページ：https://www.nagoya-shakyo.jp/



この事業は皆さまからの福祉基金を活用しています

鯉城学園 入学生募集！

「高齢者の生きがいづくりと、地域活動の核となる人材の養成」を目的として設立された鯉城学園では、令和5年4月入学生を募集します！

鯉城学園には、幅広い知識を身に付けていただく「共通講座」とICTなど暮らしに係ることや福祉、美術など自分の関心のあることを学ぶことができる8種類の「専攻」があります。その他にも、仲間とともに活動する学生会やクラブ活動などもあり、充実した学園ライフを過ごすことができます。

各専攻の募集人数などの詳細は、区役所・支所、区社会福祉協議会、生涯学習センター、図書館などで配布される令和5年度入学案内をご覧ください。また、入学案内の送付をご希望の方は、下記お問い合わせ先までご連絡ください。

なお、令和5年度予算の状況や、新型コロナウイルス感染症の状況によっては、内容が変更になる場合があります。

- 対 象 名古屋市内に住所を有する60歳以上(令和5年4月1日現在)で、地域活動に参加する意欲のある方(ただし、本学園を過去2回卒業した方は除く)
- 出願期間 令和5年1月11日(水)～令和5年2月10日(金)
- お問合せ 名古屋市鯉城学園 電話：052-222-7521



学園ライフの風景

ご寄付・ご寄託・賛助会員のご紹介

ご寄付ありがとうございました

令和4年9月1日～令和4年11月30日受付分（敬称略、順不同）

福祉基金への寄付

MARINE GP 実行委員会 / フクシマガリレイ株式会社中部支社 /
一般社団法人中部シニア活性化機構 / 談悠会 / 小椋 盛雄 /
公益財団法人名古屋フィルハーモニー交響楽団 /
民生委員児童委員大会（募金箱） / 令和4年度名古屋市公立保育園退
職園長 / 名古屋市社会福祉協議会職員ワンコイン運動 / 匿名9件

市社会福祉協議会への寄付

MT TECHNICAL JAPAN 株式会社・大垣共立銀行 /
株式会社中井 / 匿名4件

市社協サポーター（賛助会員）のご紹介

令和3年度・令和4年度会員（令和4年11月30日現在）（敬称略、順不同）

仁木 雅子 / 中央法規出版株式会社岐阜営業所 /
小池 博美 / 渡辺 賢次 / 株式会社マルワ /
鷺見 修 / 木村 剛 / 株式会社せがわ住機 /
タック株式会社 / 富田 哲生 / 三谷 洋一 / 北村 泰幸 /
株式会社サンエネック / 上村 成良 / 永井 瑛資 /
Kのキンパ / 越俣 加絵 / 水谷 巍 /
東洋羽毛東海販売株式会社 / 株式会社ウイングス /
石田 栄美子 / 立松 博 / 株式会社ラングロバル /
船木 陽子 / 吉田 南 / 柏 大輔 / 佐藤 良喜 / 匿名8件

ご寄託ありがとうございました

使用済切手・書き損じはがき・ベルマーク等（令和4年9月1日～令和4年11月30日受付分） ※敬称略

社会福祉法人 共育ちの会 / 鬼頭 かをる / 蔦井株式会社 / 国際ソロブチミスト名古屋一中 / 村井 佳恵 /
ハリキッテ友の会 世話人 毛利 碩 / 川井 孝司 / 高木 玲子 / 高橋 孝次 / 北福祉フェスティバル / 北区消費者クラブ /
田村 富士雄 / 中村工業株式会社 / みなみ新体操クラブ / 旭コークス工業株式会社 / 伊藤 光代 / 港北幼稚園 / 若松 工 /
天白まちづくりサポータークラブ / 服部 とみ / どんとクイズ教育研究所 / 東・北・中村・昭和・熱田・中川・港・守山・名東・
天白区社会福祉協議会受付分 / 匿名23件

ご寄託いただいた使用済切手等は、次の団体に送付しました。

団体名	活用方法
世界の子どもにワクチンを 日本委員会 (認定) 特定非営利活動法人シェア	ワクチン支援 毎月1回乳幼児健診の開催など

※使用済切手・書き損じはがき・ベルマークなどの寄付希望がありましたら、名古屋市社会福祉協議会ボランティアセンターまでお届けください。お届けの際は、本広報紙へのお名前掲載の可否及び郵送希望の有無をお知らせください。

じむきよくちょうのつがやき

新年、明けましておめでとうございます。昨年はロシアのウクライナ侵攻や、急激な物価上昇など、平和な暮らしを脅かす予想もしない出来事が続きました。振り返ってみればコロナ禍が始まった3年前から、「もうすぐ問題は解決する」、「世の中は良い方向に向かっていく」という期待は裏切られ続けています。メディアやネットで自分を安心させてくれる情報だけを選び出し、不都合な情報からは目を背けようとする、認知のバイアス＝偏りの存在に気付かされた3年間でもありました。それでもやはり、新年を迎えて「平和な世の中に」と願わずにはいられません。



名古屋市社会福祉協議会事務局長 柄澤 克彦



〒462-8558 名古屋市北区清水四丁目17番1号 名古屋市総合社会福祉会館内

TEL : 052-911-3192 FAX : 052-913-8553

ホームページ : <https://www.nagoya-shakyo.jp/>

E-mail : nagoyaVC@nagoya-shakyo.or.jp

※この広報紙は福祉基金を活用して作成しています。

※この広報紙は古紙パルプを含む再生紙を使用しています。

※市内社会福祉施設、民生委員・児童委員、大学などへの配布及び公共施設に配架しています。

広報紙「ふれあい名古屋 No.139」発行日：令和5年1月1日

発行部数：12,000部

